

3学期始業（1月6日）

伊東高校定時制として過ごす最後の3学期が始まりました。4月からは伊豆伊東高校定時制として新たなスタートを切ります。昨年度までに伊東高校定時制の課程を卒業していった先輩は1430名います。4年生9名が卒業すると、1439名が伊東高校定時制の卒業生総数となり、この数は今後も変わりません。伊東高校の閉校と伊豆伊東高校の開校という歴史的な場面に立ち合おうとしています。

この校舎とももう少しでお別れすると思うと少しさびしい気持ちもありますが、吉田のきれいな校舎に移っていくと思うとわくわくする気持ちにもなります。どちらにしても、思い出をたくさん作っていきましょう。

百人一首大会（1月17日）

コロナ前は全校で行われていた百人一首大会も密を避けるためにクラスごとに行うようになりました。クラスごとの百人一首大会も3年目。4年生だけが全校の大会を経験しています。来年度は全校での大会が開催できることを願っています。

写真は2年生の様子。上の句を読んでいるあいだに取ることがができる札も昨年より増えました。一方で、下の句を聞いてもなかなか札が見つからないこともありました。

実力差もありましたが、クラスの親睦を深めるよい機会になったと思います。



百人一首大会の結果

1年生の部	優勝	磯部	心さん
		山口	湊さん
2年生の部	優勝	梅原	瑠菜さん
3年生の部	優勝	藤牧	晃太さん
4年生の部	優勝	山口	美羽菜さん



静岡県東部高等学校定時制生徒合同文化祭（1月21日）



「青」



3年ぶりに東部合同文化祭を開催することができました。バスで伊豆長岡のアクシスかつらぎまで行き、東部の定時制高校7校（下田、伊東、沼津工業、三島長陵、小山、富士、富士宮東）の展示発表やステージ発表を見ました。本校からもたくさんの展示物を出品し、ステージでは1年磯部さんの生活体験発表、バンド部はステージ発表がありました。

参加者による投票の結果、本校の展示物の中では2年梅原さんの「青」が1位、生徒会作品のペットボトルキャップアートが2位になりましたが、実はこの2作品が東部全体の1位、2位でもありました。また、バンド部の発表も高評価だったようです。



生徒会作品



令和5年度 伊豆伊東高校定時制 前期生徒会選挙(1月31日)

1月31日に行われた生徒会選挙には、会長、副会長に立候補したそれぞれ1名が演説を行い、その後すぐに投票となりました。

選挙の結果

生徒会会長 河本 みさき さん
生徒会副会長 藤牧 晃太 さん
が信任されました。

2人は令和4年度後期の伊東高校定時制生徒会の会長・副会長を務めていましたが、引き続き令和5年度前期の会長・副会長を務めることになります。

伊東高校定時制の最後の会長・副会長であり、伊豆伊東高校定時制の最初の会長・副会長になります。



共生・共育講座（2月20日）

来年度、伊豆伊東高校で定時制が入る棟と同じ管理棟に東部特別支援学校伊豆高原分校が併置されます。

定時制とは時間帯は重なりませんが、同じ校舎で学ぶ仲間のことを少しでも知っておくために、伊豆高原分校の永澤 洋先生にお話しいただきました。



卒業生を送る会（2月27日）



卒業式前日に生徒会主催で卒業生を送る会が催されました。

4年生が入学したところから今までを記録したフォトムービーを上映しました。まだ幼さが残った顔つきから、一人前の大人へ成長していく様子がうかがえました。

また、在校生から卒業記念クッキー、名刺入れがプレゼントされました。

閉校式（2月28日）

伊東高校の閉校式が体育館で行われました。全日制・定時制の全生徒や多くの来賓の前で、定時制生徒代表として生徒会会長の河本さんが言葉を述べて、副会長の藤牧さんが校旗降納を行いました。

河本さんは伊東高校での3年間を振り返り、勉強とアルバイトの両立は大変だったけれど、仲間や先生方に助けられて、今では学校生活も勉強も楽しく頑張っている。自分の将来に向かって一步一步ゆっくりと進んでいくことができるのが、伊東高校定時制だと話しました。



卒業式（2月28日）



卒業証書授与



卒業生答辞

卒業生一人ひとりに校長先生から卒業証書が手渡されました。

校長先生は式辞の最後で、考えることの大切さを誰よりも認識していたシャルル＝モーリス・ド・タレーランの言葉「もっとゆっくりいってくれ、私は急いでいるんだから」を卒業生に送りました。



卒業生表彰

全国高等学校定時制通信制教育振 稲葉 陸人さん

興会会長賞

伊東商工会議所会頭賞

伴 優孝さん

本校定時制教育振興会会長賞

文化活動功労賞 稲葉 陸人さん

体育活動功労賞 鳥澤 優弥さん

廣田 日南太さん

特別賞

山口 美羽菜さん

山口 蓮さん

年間皆勤賞・精勤賞

1か年皆勤賞 3年 藤牧 晃太さん

1か年精勤賞 3年 河本 みさきさん

寺田 慎さん

2年 宮下 若菜さん

1年 山中 響さん



総合コンクール〈年間総合成績〉

順位	学年	氏名	順位	学年	氏名
1	3	山本 宗孝	6	4	山口 美羽菜
2	1	磯部 心	7	3	藤牧 晃太
3	1	山田 遥人	8	2	小野 達也
4	1	浦上 貴成	9	4	稲葉 陸人
5	2	梅原 瑠菜	10	3	小川 聖栄



閉校式 定時制生徒代表のことば

ここ伊東市をわたる冷たい風の中にも、穏やかな日差しが差し込むようになり、今にも、令和五年の春が訪れようとしています。そして、昭和二十三年九月から七十四年間、この地に根付いてきた伊東高校定時制の課程ですが、伊東高校、伊東商業高校、城ヶ崎分校の再編に伴い、惜しまれつつも閉校し、新たに伊豆伊東高校定時制の課程としてスタートします。

この伊東高校定時制の課程は、昭和二十三年に誕生して以来、伊東地区唯一の定時制高校として社会に開かれています。ここに通う生徒は「働きながら学ぶ」ことを目標に、昼間はアルバイト、夕方から夜にかけて授業や部活動という生活を送っており、これまでもたくさんの先輩方がこの充実した四年間を全力で過ごし、卒業されていきました。この定時制の文化は、新しい高校でも変わらず引き継がれていくことでしょう。

今この三年間を振り返ってみると、決して楽な生活ではありませんでした。はじめは学校に慣れることも大変で、勉強についていくこともできず、自分を責めることが多かった気がします。また、アルバイトを始めてみると、働くことの大変さや学校生活との両立の大変さも分かりました。そんな中、周りにいる友達や先生方に助けられ、この生活に徐々に慣れていき、今では学校生活も勉強も楽しく頑張ることができています。また、生徒会長として、学校全体を見ながら行事の運営などを経験したことで、今までの学校生活では味わったことのない達成感を得ることができています。

これまで定時制に在籍してきた生徒の中には、学校生活とアルバイトを両立しようと定時制を選んだ生徒や、様々な過去を経験してきた生徒がいて、そのような先輩方も立派に卒業していったと先生方から聞いています。現在も、私と同じように大変な思いをしてきた生徒がいるかもしれません。それでも、自分の将来に向かって一步一步ゆっくりと進んでいくことができるのが、この伊東高校定時制であると思います。伊豆伊東高校に変わったとしても、この地域での定時制高校の文化を守っていけるような温かみのある学校を作っていきたいと思います。

最後に、この伊東高校定時制の最後の年に、生徒代表として挨拶をさせていただいたことを誇りに思います。そして私たちを支え続けてくださった多くの方々への重ねての感謝の思いとともに、新しく生まれる伊豆伊東高校のますますのご発展を心からお祈りし、閉校にあたっての挨拶とさせていただきます。

令和五年二月二十八日 定時制生徒代表 河本 みさき

離任される先生方

後 藤 昇 太 校長先生	島田高校
古 瀬 裕 也 教頭先生	沼津工業高校
飯 田 実 事務長	下田高校
滝 口 夏 帆 先生（英語）	静岡西高校
山 田 真 穂 先生（養護教諭）	池新田高校
杉 田 正 文 先生（美術）	御退職
村 松 彩 加 さん（事務）	静岡県経営管理部 静岡財務事務所

伊東高校定時制のHP



伊豆伊東高校定時制のHP



※伊東高校から伊豆伊東高校への異動は掲載していません

令和4年度卒業生答辞

厳しい寒さも和らぎ、春の訪れを感じられる今日、私たちは卒業を迎えることが出来ました。本日、お忙しい中、私達のためにご臨席くださいました皆様、誠にありがとうございます。校長先生をはじめ、ご来賓の皆様からお祝いのお言葉をいただき、心からお礼申し上げます。私たち卒業生一同は、皆様のお言葉を深く心に留め、明日から新しい一步を踏み出します。

今、伊東高校定時制で過ごした日々を振り返ってみると、様々な出来事が思い出されます。思い起こせば四年前、期待と不安を抱えながら入学した私達は、クラスメイトが少人数であったことで、すぐに打ち解け合いました。2・3年生のときはコロナ禍真っ只中で、残念ながら多くの学校行事が中止になってしまいましたが、4年生全員で行くことができた修学旅行はとても思い出に残る楽しい時間でした。このほかにも、テスト前には勉強会を開いて共に協力し、苦手教科を乗り越えたこと。悩み事や、辛い出来事があると、ご飯に行き、相談相手になってくれたこと。時に深く傷つき立ち直れなくなりそうな時も側で支えてくれたこと。この学校で出会い、育まれた友情は、この先も一生私の宝物となるでしょう。

そして、私はこの学校でたくさんのことを学びました。勉強とアルバイトの両立では、様々な苦勞をしてきました。朝からアルバイトに精を出し、夕方からは授業に取り組みました。終業後には部活動に参加し、自分の能力向上のために、汗を流し、練習に夢中になりました。勉強とアルバイトの両立は決して簡単なものではなく、時には辛く、煩わしい時期もありました。しかし、クラスメイトのアルバイトの話の聞いたり、実際に現場で働いている姿を見たりすると感化され、私自身も、頑張ろうと思えました。このような四年間の日々はとても充実していて、今思い返せばとても短く感じます。

四年間共に学び、笑いあったクラスメイトに加え、先生方にも本当に感謝しています。心優しく話を聞いてくださったこと。アルバイトで疲れている私達を気遣いながら、取り組みやすいように授業を工夫してくださったこと。先生方は、私たち生徒一人一人の成長速度に目を向けてくださいました。そのほかにも、私達の困っていることや、悩んでいることに対して自分の事のように真剣に考え、的確なアドバイスをくださいました。そんな先生方に、私達は時に生意気な立ち振る舞いをしてしまうこともありました。そんな時はしっかりと叱ってくれた先生方には本当に感謝の気持ちでいっぱいです。この学校生活で先生方がいらっしやなければ私達はここまで成長できていません。先生方から教わったことを胸に刻み、明日から始まる新しい生活の糧にしていきたいと思います。

そして、いつも陰ながら私達をサポートしてくれた家族にも感謝しています。今思い返せば、学校までの送り迎えや金銭面での援助など様々なサポートをしてくださいました。それでも私は、そのありがたみを当然のように受け取り、時には喧嘩もしました。しかし、卒業を迎えるにあたって、そのありがたみを理解できずに過ごしていた自分に対していただちと後悔を感じます。今、この場を借りて感謝を伝えたいと思います。いつもありがとうございます。これからもお世話になります。

後輩の皆さんにも伝えておきたいことがあります。四年間はあっという間に過ぎ去ります。その一瞬の日々の中でしか気づけないこと、学べないことは多くあります。今しかできないこと、高校生でしかできないこと、たくさんの経験をしてください。それらの経験を通して得たことがみなさん一人一人の強みになります。私自身、今まで経験してきたアルバイトや学校での勉強、部活動、生徒会活動などで多くのことを感じ、学びました。それらの経験をもとに、就職活動を乗り切ることができました。皆さんも、高校生活の中で一つでも多くの経験をし、自分の強みを見つけていってください。

最後にはなりますが、多くの方々からのご支援があり、今日、私達は卒業式を迎えることができました。この場をお借りし、お世話になった先生方、家族、そして私達を応援してくださった全ての方々にお礼申し上げます。

伊東高校定時制は、四月から伊豆伊東高校定時制として、新たなスタートを切ることになります。私たちが作り上げてきた伊東高校定時制の伝統を受け継ぎつつ、新たな歴史を作りあげていってください。四月からの伊豆伊東高校の発展と、在校生の皆様のますますのご活躍をお祈りし、答辞とさせていただきます。

令和五年二月二十八日 卒業生代表 稲葉 陸人